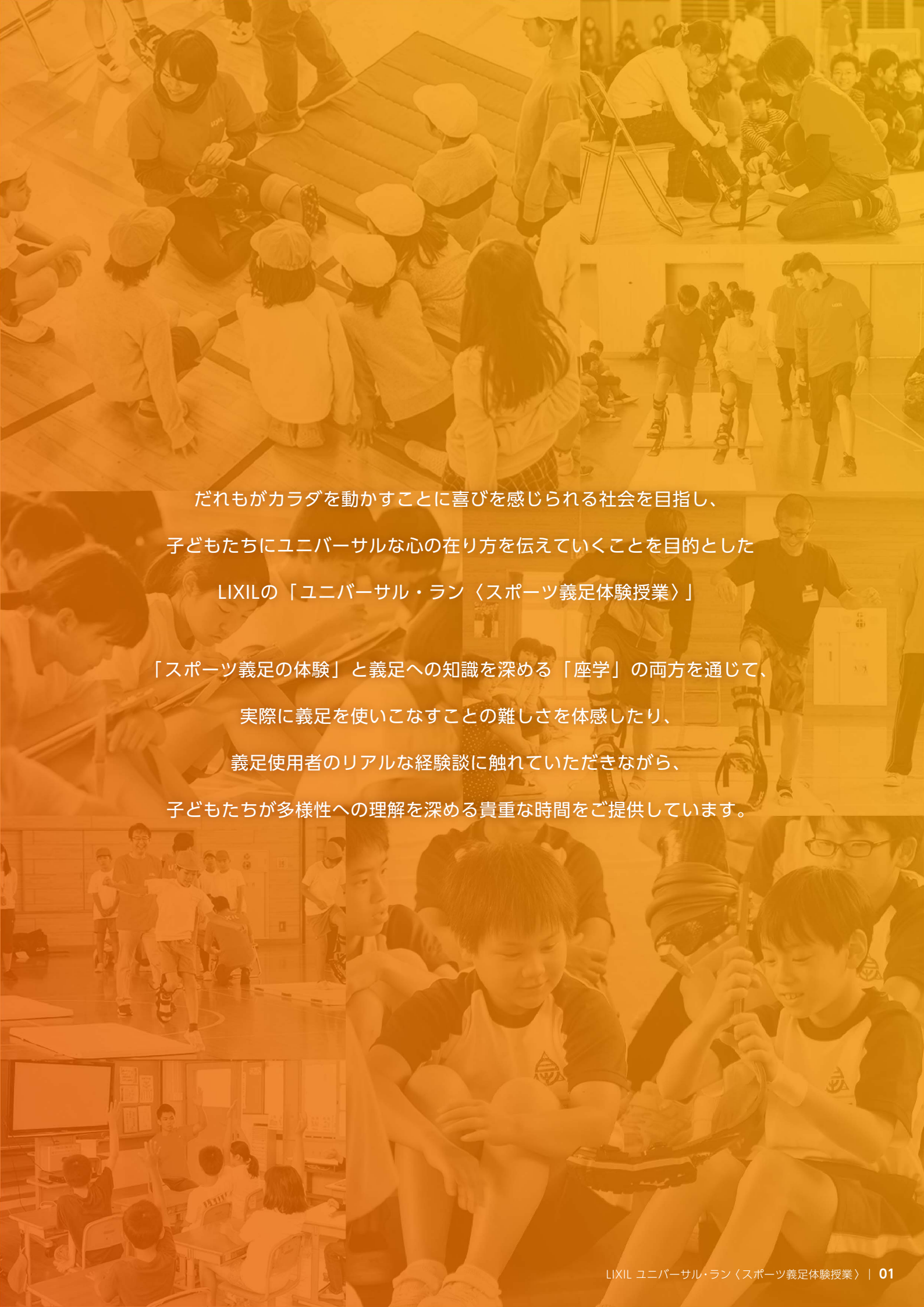




ユニバーサル・ラン
〈スポーツ義足体験授業〉

2018年度 開催報告



だれもがカラダを動かすことに喜びを感じられる社会を目指し、
子どもたちにユニバーサルな心の在り方を伝えていくことを目的とした
LIXILの「ユニバーサル・ラン〈スポーツ義足体験授業〉」
「スポーツ義足の体験」と義足への知識を深める「座学」の両方を通じて、
実際に義足を使いこなすことの難しさを体感したり、
義足使用者のリアルな経験談に触れていただきながら、
子どもたちが多様性への理解を深める貴重な時間をご提供しています。

体験授業開催校一覧 1/2

北海道

北海道 登別市立幌別西小学校 04

東北

青森県 三沢市立上久保小学校	04	山形県 寒河江市立柴橋小学校	06
岩手県 遠野市立小友小学校	05	山形県 天童市立津山小学校	07
福島県 郡山市立薫小学校	05	山形県 南陽市立赤湯小学校	07
山形県 酒田市立浜田小学校	06		

関東

神奈川県 川崎市立大谷戸小学校	08	栃木県 那須塩原市立三島小学校	16
群馬県 高崎市立中央小学校	08	栃木県 佐野市立山形小学校	16
埼玉県 さいたま市立北浦和小学校	09	東京都 渋谷区立加計塚小学校	17
埼玉県 新座市立野寺小学校	09	東京都 中央区立日本橋小学校	17
埼玉県 新座市立栗原小学校	10	東京都 杉並区立桃井第三小学校	18
埼玉県 朝霞市立朝霞第十小学校	10	東京都 足立区立千寿本町小学校	18
千葉県 船橋市立三山小学校	11	東京都 台東区立平成小学校	19
千葉県 木更津市立清見台小学校	11	東京都 江東区立浅間堅川小学校	19
千葉県 長生村立一松小学校	12	東京都 目黒区立東根小学校	20
千葉県 船橋市立田喜野井小学校	12	東京都 板橋区立大谷口小学校	20
千葉県 佐倉市立山王小学校	13	東京都 江戸川区立西小岩小学校	21
千葉県 山武市立松尾小学校	13	東京都 東大和市立第六小学校	21
千葉県 市原市立八幡小学校	14	東京都 豊島区立高南小学校	22
千葉県 山武市立睦岡小学校	14	東京都 江戸川区立第四葛西小学校	22
千葉県 流山市立流山小学校	15	東京都 調布市立飛田給小学校	23
千葉県 佐倉市立小竹小学校	15	東京都 江東区立明治小学校	23

中部

愛知県 豊田市立寺部小学校	24	新潟県 長岡市立日吉小学校	28
愛知県 豊田市立石畳小学校	24	新潟県 上越市立上下浜小学校	28
岐阜県 高山市立花里小学校	25	新潟県 上越市立明治小学校	29
静岡県 掛川市立第一小学校	25	福井県 福井市日之出小学校	29
静岡県 静岡市立清水飯田小学校	26	福井県 大野市立上庄小学校	30
長野県 佐久市立岸野小学校 / 佐久城山小学校	26	山梨県 富士河口湖町立勝山小学校 /	
長野県 安曇野市立三郷小学校	27	西浜小学校 / 大嵐小学校 /	
長野県 岡谷市立小井川小学校	27	富士豊茂小学校	30

体験授業開催校一覧 2/2

近畿

奈良県 橿原市立畝傍東小学校	31
奈良県 奈良市立鶴舞小学校	31

中国

岡山県 久米南町立神目小学校	32
山口県 萩市立川上小学校	32

四国

香川県 高松市立香西小学校	33
香川県 三豊市立大見小学校 / 吉津小学校	33
高知県 高知市立小高坂小学校	34

九州

佐賀県 佐賀市立西与賀小学校	34
宮崎県 都城市立西岳小学校	35

※ 講師のプロフィールは参加当時の情報です

登別市立幌別西小学校

田中聡選手



5年生と田中聡選手が授業を行いました。初めは少し緊張していたみんなでしたが、身振り手振りで義足の使い方やコツを優しく教えてもらい、たくさんのお話しをしてあっという間に仲良くなりましたね。義足でも自転車や車の運転は出来るし、運動と同じでトレーニングすれば使いこなせるようになると聞き驚いたみんな。諦めずにチャレンジしていくことの大切さを感じました。どんな質問にも優しく答えてくれた田中選手。真冬の寒い1日でしたが、体育館の中は暖かい空気で満たされていました。

三沢市立上久保小学校

走り高跳び選手 / 鈴木徹選手
SMBC日興証券所属

5年生のみんなと鈴木徹選手が授業を行いました。義足の特長や上手に歩くコツなどを教えてもらい、元気に体験しましたね。鈴木選手の問いかけにも積極的に発言し、いろんな意見交換を通じて知識を深めるみんな。実際に体験し聞くことで、新しい世界が広がっていきました。

遠野市立小友小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

1年生から6年生のみんなが体育館に集まり授業を行いました。山下千絵選手は、義足を使うことで普段の生活で困ることは何もないと教えてくれました。義足だと大変なのかな?とっていたみんなでしたが、その考えが変わりました。スポーツ義足の体験は5・6年生のみですが、他の学年のみんなも山下選手と触れ合い、たくさんのお話をしていましたね。まもなく初雪という寒い時期でしたが、体育館の中は暖かい空気で包まれていました。

郡山市立薫小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

6年生のみんなと又吉康十選手が授業をしました。初めてのスポーツ義足は楽しかったけれど、使いこなすことは難しいと感じました。義足の人は、足が痛くないのかなと思ったみんな。又吉選手は、自分に合っていれば大丈夫、走ることもジャンプをすることもできると教えてくれました。足が痛くなる時は、みんなの靴擦れと同じだと聞いて、自分と何も違いがないことに驚きました。

酒田市立浜田小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

5年生、6年生のみんなと池田樹生選手が授業を行いました。

スポーツ義足は思った以上にバランスを取るのが難しく、この義足で速く走る池田選手はすごいなと思いました。自分で体験をしたり、今まで聞いたことのないお話を聞き、新しい世界に興味を持つみんな。どんなことでも実際に挑戦してみることが大切だなと感じました。

寒河江市立柴橋小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

5年生、6年生のみんなが池田樹生選手と授業を行いました。初めてのスポーツ義足は楽しかったけれど、使いこなすことは難しいと感じました。その義足でとても速く走ることができる池田選手は、たくさんの練習と多くの工夫を積み重ねてきたことを教えてくれました。みんなは、ここまで来るためにはどれだけの時間がかかったのだろうと思い、困難なことでもあきらめずに続けていくことの大切さを感じました。

天童市立津山小学校

2018年12月21日 開催

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

5年生、6年生と又吉康十選手が授業を行いました。スポーツ義足はバランスを取るのが難しく、この義足で速く走る又吉選手はすごいなと感じました。授業では、又吉選手との触れ合いを通じて、自分との違いや、逆に自分と同じことを学んでいきました。義足の人の感じ方を知り、自分とは違う誰かの目線で物事を見ることの大切さを感じたみんなは、心のバリアを捨て、相手を思いやる気持ちを持ち、行動に移していきたいと思いました。

南陽市立赤湯小学校

2019年1月25日 開催

陸上競技短距離選手 / 笠松大聖選手
日本体育大学

前日の寒波もおさまり、時折晴れ間ものぞくなか、笠松選手と授業を行いました。初めてのスポーツ義足を体験して難しいと思ったみんなは、これで速く走る笠松選手はすごいなと思いました。笠松選手のお話を聞き、たくさんの質問をして、日常生活で不便なことやどうすれば暮らしやすいかならうと考えていきました。触れ合いを通じて、自分とは違う誰かの目線で見ることの大切さを感じました。

川崎市立大谷戸小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手 / SMBC日興証券所属、
陸上競技短距離選手 / 春田純選手 / ウォーターワークス株式会社所属

6年生のみんなと山下千絵選手・春田純選手が授業を行いました。2人の選手と、ひとりひとりがしっかりコミュニケーションを取り、イキイキと学ぶ1日になりました。選手たちは、日常生活でもう困ることはないと言いますが、その過ごし方には大きな違いや個性があり、それぞれ自分が暮らしやすいように工夫をしていました。みんなも、家の中での過ごし方が友達とも違うことに気がつき、義足のひともそうじゃない人も、自分らしく暮らすことに違いはないんだな、と思いました。

高崎市立中央小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

5年生、6年生のみんなと又吉康十選手が授業を行いました。又吉選手の日常生活の話や、体験会での触れ合いを通じて「自分との違い」、逆に「同じこと」をみんな考えていきました。他者との違いを知り、理解し合うことが大切だと感じ、みんなは「自分にできることがあれば積極的にお手伝いをしていこう」と思いました。

さいたま市立北浦和小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生のみんなが授業を行いました。スポーツ義足は難しくて初めは緊張したけれど、山下千絵選手に教えてもらって走ることができました。山下選手は、義足になった時はお友達に言えなかったと教えてくれました。その壁を壊してくれたのはお友達だと聞いて、仲間の大切さを感じました。困難なことも明るくお話ししてくれる山下選手。みんなと一緒に笑顔の絶えない時間を過ごしました。

新座市立野寺小学校

陸上競技短距離選手 / 春田純選手
ウォーターワークス株式会社所属

5年生のみんなと、春田純選手が授業を行いました。

春田選手に優しく教えてもらい、義足の跳ねる感覚を体感しました。色々和努力や工夫を重ねて、今では何でも出来る春田選手ですが、義足になった当時は、周りの視線が気になりコンプレックスに感じた事もあったと振り返ります。それを聞いて、壁を作らずに触れ合うことの大切さを感じました。

新座市立栗原小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

池田樹生選手と6年生のみんなが授業を行いました。初めてのスポーツ義足でジャンプにチャレンジ。バランスを取るのが大変で、使いこなすことの難しさを体感しました。池田選手は、その義足でとても速く走り高く跳びます。スポーツだけでなく、日常生活でも何でもできると聞いて、ここに辿り着くまでにどれだけの努力をしたんだうと思いました。

朝霞市立朝霞第十小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生と山下千絵選手が授業を行いました。体育館に集まったみんなは初めて会う義足のアスリートに興味深々。日々の生活についてや素朴な疑問を質問しました。最初は戸惑っていたみんなでしたが、たくさんのお話や体験会での触れ合いを通じて、自分との違いのなさに気づき、いつのまにか壁はなくなっていました。

船橋市立三山小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

5年生のみんなと池田樹生選手が授業を行いました。義足での歩き方やジャンプのコツなどを優しく教えてもらい、たくさんの触れ合いの時間をもちました。池田選手は、スポーツは問題なく出来るし、日常生活でも困る事はないと言い、何でも器用にこなす姿を見せてくれました。最初は、初めて会う義足のアスリートにどう接すれば良いかわからなかったみんなでしたが、いつの間にかその壁はなくなっていました。

木更津市立清見台小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生の子どもたちと山下千絵選手が授業を行いました。

明るくて元気いっぱいの山下選手ですが、義足になった当時はこれからどうしたら良いだろうと悩んだそうです。けれど工夫することで乗り越えたと聞いて、子どもたちも諦めない気持ちを持つことの大切さを知ったようです。子どもたちは、義足のことや障がいに対する考え方を優しく教えてくれた山下選手ととても仲良くなり、帰り道ではいつまでもお見送りをしてくれました。

長生村立一松小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

5年生、6年生のみんなが池田樹生選手と授業を行いました。初めて会う義足アスリートに興味深々で、たくさんの質問をしましたね。義足でもとても速く走り高く跳ぶ池田選手を見て、驚いた様子みんな。大きな夢に向かって努力しつづける池田選手の姿を知り、どんな状況でも言い訳をせずに、前を向くことの大切さを教えてもらいました。

船橋市立田喜野井小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

5年生のみんなと又吉康十選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足はちょっと難しく感じたけれど、元気いっぱい積極的に取り組みました。又吉選手は義足でもスポーツを楽しんだり、生活で困ることはもうないと言いますが、義足になった頃は、慣れなくて躓いたりするなど不便を感じたそうです。それを聞いて「誰もが暮らしやすい社会をつくるためにどうすれば良いかな」と、みんなで考える時間になりました。



5年生6年生と山下千絵選手が授業を行いました。山下選手の速く走ったり高く跳ぶ姿を見て、義足は不便なのかな？と思っていたみんなはとても驚きました。スポーツ義足に出会ったことで、新しい世界を目指して頑張ることができるので、義足であることはマイナスではないと教えてくれました。ひとつひとつの出会いを大切に、今を楽しみながら何でもチャレンジしていこうと思いました。



5年生と佐藤圭太選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足を体験し、とても難しいと感じたみんな。これで速く走ることができる佐藤選手はどれだけの努力をしたのだろうと思いました。義足になった当時は、大好きなスポーツができなくなる不安があったけれど、義足になったからこそ出会えた夢がある、と言い、今は走ることを楽しんでいることを教えてくれ、どんな時でも前向きに考えることの大切さを知りました。

市原市立八幡小学校

陸上競技短距離選手 / Jarryd Wallace選手
北米トヨタ自動車株式会社所属

5年生と Jarryd Wallace 選手が授業を行いました。スポーツ義足の体験では、身振り手振りでコツを教えてもらったり、手をつないでジャンプにチャレンジしましたね。Wallace 選手は「義足でも国籍が違って怖がらずにコミュニケーションを取ってほしい」と言いました。初めは緊張していたみんなですが、交流を通じて壁がなくなり、あちこちから元気な声が聞こえてきました。

山武市立睦岡小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

5年生、6年生と池田樹生選手が授業を行いました。スポーツ義足を体験し、バランスを取るのが難しいと感じたみんなは、この義足で速く走る池田選手を見てとても驚いていました。池田選手は出来ることでも、周りから危ないと止められてしまう事があると教えてくれました。チャレンジしたい気持ちは自分達と同じだと知り、壁を作らずに接していきたいと思いました。

流山市立流山小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

6年生と又吉康十選手が授業を行いました。初めは遠慮がちなみんなでしたが、次第に打ち解けて、体験会が終わる頃には壁が全くななくなっていました。義足は不便なのかなと思ったけれど、又吉選手がとても速く走る姿を見たり、日常生活で困ることはほとんどないと聞いて自分たちとの違いのなさに気づいたみんな。

「もう義足の人を見ても驚かないよ」という声が聞こえてきました。

佐倉市立小竹小学校

陸上競技短距離選手 / 春田純選手
ウォーターワークス株式会社所属

5年生と春田純選手が授業を行いました。明るい春田選手につられ、元気よく発言をして積極的にコミュニケーションをとり楽しく学びました。春田選手は義足になった時は少し辛かったけど、工夫する事で何でも出来るようになったと教えてくれました。義足の方は苦手なことが多いのかなと思っていたみんなでしたが、触れ合うことで、新しい目線で物事を見るキッカケとなりました。

那須塩原市立三島小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生と山下千絵選手が授業を行いました。スポーツ義足の使い方を教えてもらい、初めてでも怖がらずに積極的にチャレンジしました。山下選手との会話を通じ、義足を使いこなすことで自分たちと何も変わらない生活をしていると知ったみんな。テクノロジーの進化でさらに便利になる可能性を秘めていることも教えてもらいました。義足と触れ合った体験が、今までと違う目線で物事を見るキッカケとなり、自分なりに考えてみようと思う時間になりました。

佐野市立山形小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

145年の歴史を持つ学校で、5・6年生と山下千絵選手が授業を行いました。それまでスポーツ義足をテレビでしか見たことのなかったみんなは、実際に体験して難しさを知り、努力の大切さを実感しました。山下選手がスポーツを続けた理由は、スポーツが好きだったのはもちろん、先生や周りの友達が応援してくれ支えてくれたことが大きかったそうです。当時は大変だったことも今ではみんなと何も変わらずにできるので、もっと身近に感じてもらえたら、とお話ししてくれました。今日教えてもらったことをこれから様々な場面で生かしていこうと感じました。

渋谷区立加計塚小学校

X陸上競技短距離選手 / 佐藤圭太選手
トヨタ自動車所属

爽やかな五月晴れのこの日、佐藤圭太選手（トヨタ自動車）と5年生のみんなが授業を行いました。スポーツ義足は慣れなくて大変だと思ったけれど、佐藤選手も初めは難しかったと聞いて、日々努力することの大切さを感じました。お互いに声を掛け合いながら取組み、元気に体験するみんな。体育館の中には元気な声が響いていました。

中央区立日本橋小学校

陸上競技短距離選手
金子慶也選手

関東地方が梅雨明けしたこの日、6年生のみんなと金子慶也選手が授業を行いました。元気よくスポーツ義足にチャレンジし、跳ねる感覚を楽しみながら学びました。金子選手に積極的に質問し、答えのひとつひとつに大きくなるみんな。たくさんの会話を通じて「義足でも日常生活で困ることはない」と知り、自分との違いのなさに気づきました。

杉並区立桃井第三小学校

陸上競技短距離選手
金子慶也選手

金子慶也選手と6年生のみんなが授業を行いました。初めて見る義足について色々学び、元気に体験をしました。触れ合いを通じて、金子選手とあつという間に仲良くなり、はじめに少しだけ感じた自分との違いという心の壁もすぐになくなった様子。好奇心旺盛なみんなからはたくさんの質問が生まれ、体育館は賑やかで明るい声が響いていました。

足立区立千寿本町小学校

陸上競技短距離選手 / 春田純選手
ウォーターワークス株式会社所属

6年生のみんなと春田純選手が授業を行いました。スポーツ義足で歩くことは思ったよりも難しく、とても速く走る春田選手を見てすごいなと思いました。授業の後半には、東京2020マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」がサプライズで登場。マスコットに優しく見守られながら義足の体験をしたり、クイズで義足についての知識を深め、みんなで一緒に楽しい時間を過ごしました。

台東区立平成小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザー・コンソーシアム(株)所属

5年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めは緊張していたけれど、池田選手に義足の使い方を教えてもらい、いつの間にか緊張がなくなって、たくさんお話をすることができました。日頃から共生社会について学んでいるみんなは、体験と触れ合いを通じてより知識を深める1日になりました。

江東区立浅間堅川小学校

陸上競技短距離選手 / 春田純選手
ウォーターワークス株式会社所属

5年生のみんなと春田純選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足にみんな興味深々。積極的に質問をしながら元気に体験しました。春田選手は、義足を使って自転車にもバイクにも乗ることができます。みんなが「難しいんじゃないかな」と思っていたら、楽しみながらチャレンジすることで、できるようになる、と言う春田選手。義足でもそうじゃなくても、やりたいと思うことにチャレンジしていく気持ちの大切さを教えてくれました。

目黒区立東根小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生のみんなと山下千絵選手が授業を行いました。義足で歩くことは難しく、つまづくこともありましたが、とても明るい山下選手につられて、元気よくチャレンジをしました。山下選手も義足に慣れるまでは転んだりもしたけれど、今では日常生活で困ることはないと言います。義足の人は大変なのかな、と思っていたみんなですが、とても速く走り、高く跳ぶ山下選手の姿を見て、印象が変わった1日でした。

板橋区立大谷口小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生、6年生と山下千絵選手が授業を行いました。始めは遠慮気味だったみんなでしたが、明るい山下選手に引きこまれ、授業が終わるころにはとても仲良くなり、積極的にたくさんの質問をしましたね。山下選手にとって日々スポーツすることは自然なことなので、義足になっても競技を続けています。好きなことにイキイキと取り組む山下選手の姿を見て、どんなことがあっても「できない」と思わずにチャレンジしていこうと思いました。



5年生と山下千絵選手が授業を行いました。スポーツ用義足の特性や、選手の日常生活にも興味深々のみんな。自分が感じたことを積極的に発言して、山下選手とたくさんの意見交換をしましたね。山下選手は、義足でも好きなことにイキイキと取り組んでいる姿を見せてくれました。実際に体験し触れ合うことで新しい世界を知る日になりました。



5年生が授業を行いました。初めてのスポーツ義足に少し緊張したけれど、積極的にチャレンジしその特性を体感しました。義足の人は不便なことが多いのかなと思ったみんなでしたが、たくさんの質問を通じて、日常生活で困ることはあまりないと知りました。工夫をして暮らしやすくすることに自分との違いはなく、義足の人が特別な存在ではないと感じました。

豊島区立高南小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

5年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足はバランスを取ることが難しいと感じましたが、その義足で池田選手はとても速く走る姿を見せてくれました。

陸上以外のスポーツも得意な池田選手から「壁があっても工夫をすれば乗り越えられる」と聞き、何事も諦めずにチャレンジする気持ちの大切さを教えてもらいました。

江戸川区立第四葛西小学校

陸上競技短距離選手 / 春田純選手
ウォーターワークス株式会社所属

5年生と春田純選手が授業を行いました。春田選手は義足を使って仕事も趣味も積極的に楽しんでいますが、そこにはたくさんの工夫がある事を教えてくれました。自分とは違う時点で物事を見ると、それまで知らなかった世界が見えて、ちょっとした心がけが誰かの助けになることを知りました。相手を思いやる気持ちの大切さを感じたみんなは、どうすればよいか自分なりにしっかり考えてみようと思いました。

調布市立飛田給小学校



風が強く寒いながらも、晴れた気持ちの良い朝、事前学習を行い今日の授業を楽しみにしてきたみんなと、山下千絵選手が授業を行いました。山下選手が最初の義足を外した時には遠巻きで恐る恐る見ていたみんなでしたが、実際に選手と触れ合い、義足にも触れると、一気に距離が縮まり、率先して体験しどんどん質問もしていましたね。事前学習だけでなく体験することによって、とてもたくさんのことを学べた1日となりました。

江東区立明治小学校



5年生と佐藤圭太選手が授業を行いました。スポーツ義足に実際に触れて体験して、義足で歩くのはとても難しいと感じました。義足は人により長さが違い、膝がある場合とない場合では走り方も違うなど、義足と言っても大きな違いがあることを知りました。日頃から義足に親しみのあるみんなでしたが、初めて聞くことも多く、深い学びの時間となり、今までよりもっと相手の立場になって考えることができるようになりました。

豊田市立寺部小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

5年生と池田樹生選手が授業を行いました。スポーツ義足を使うことは思っていたより難しく、この義足で速く走る池田選手のすごさを感じました。池田選手は、陸上以外のスポーツも出来るし日常生活で困ることはないと教えてくれました。壁があっても工夫することで何でも出来ると知り、自分で限界を作らずにチャレンジすることが大切だと思いました。

豊田市立石畳小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

冷え込みが一段と厳しくなったこの日、大島健吾選手と5年生6年生が授業を行いました。初めて見るスポーツ義足に興味深々のみんな。寒さに負けず元気にチャレンジしました。大島選手はスポーツにも積極的に取り組んでいて、日常生活も工夫をすることで困ることはほとんどないと教えてくれました。義足だと大変なのかなと思っていたみんなでしたが、自分と何も違いがないと気づき、心の壁がなくなっていきました。

高山市立花里小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

爽やかな風が吹き抜ける体育館で、又吉康十選手と6年生のみんなが授業を行いました。積極的に取り組み、又吉選手にたくさん質問をしましたね。義足になっても好きなスポーツを諦めなかったという又吉選手のお話を聞いて、みんなも、自分で限界を作らずに何事にも取り組んでいこうと思いました。

掛川市立第一小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生のみんなと山下千絵選手が授業を行いました。初めての義足の選手に興味深々のみんな。義足だと大変なことが多いのかな？と思ったけれど、山下選手はちょっと工夫をすれば困ることはないと教えてくれました。義足になった時は大変だったことも、持ち前の明るさで克服してきた山下選手。色々なことを教えてもらったこの日、実際に義足を体験し話を聞いて触れ合うことの大切さを感じました。

静岡市立清水飯田小学校

陸上競技短距離選手 / 春田純選手
ウォーターワークス株式会社所属

春田純選手と5年生のみんなが授業を行いました。義足の弾む感覚を体験し、タイミングを合わせるのが難しく、使いこなすには努力が必要だと感じました。今では何でもできるという春田選手ですが、義足になった当時は悩んだこともあったそうです。その時は周りの人が優しく対応してくれたと聞いて、みんなも誰かが困っていたら支えになろうと思いました。

佐久市立岸野小学校 / 佐久城山小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)所属

市内の2つの学校が授業を行いました。スポーツ義足の体験は学校ごとに実施。先生として参加してくれた池田樹生選手に教えてもらいながら元気よく体験しました。講義の時間は2校が集まってお話を聞きました。池田選手は、サッカーも野球も出来るし、日常生活も困ることはなく何でも出来ると教えてくれました。どんな時もマイナスに考えず努力を続けている池田選手。前向きに考えることの大切さを、温かな交流を通じて感じることができました。

安曇野市三郷小学校



山下千絵選手と、5年生が授業を行いました。とても明るい山下選手につられ、みんなも元気にスポーツ義足を体験しました。山下選手は義足になった時、スポーツができなくなるとして残念な気持ちになったそうです。だけど諦めなかったというお話をしてくれました。自分で限界を作らないことの大切さを知り、何事にもチャレンジしてみようと思いました。

岡谷市立小井川小学校



池田樹生選手と5年生6年生が授業を行いました。とても寒い日でしたが、積極的にスポーツ義足にチャレンジし、体育館の中には元気な声が響いていました。授業中はたくさんの会話が生まれ、選手からの問いかけにもみんなはしっかりと自分の意見をお話ししてくれましたね。大きな夢に向かって頑張っている池田選手は、すぐに成果が出なくても挑戦を繰り返していけば良いと教えてくれました。諦めずに続けて行くことの大切さを確認し合い、お互いに目標に向かって頑張っていこう！と誓いあう時間になりました。



5・6年生と山下千絵選手が授業を行いました。とても明るい山下選手と一緒にスポーツ義足を体験して、上手く歩くコツを教えてもらったり、たくさんの質問をしたりしました。山下選手は、日常生活も工夫することで何でも出来ると教えてくれました。義足の人は大変なのかなと思っていたみんなでしたが、自分との違いのなさを知り、特別な存在ではないと感じました。この日は他の学年の子どもたちも体育館に集まり、賑やかで温かな時間となりました。



5・6年生と吉川和博さんが授業を行いました。初めてのスポーツ義足に少し緊張したけれど、わからないことはどんどん質問をして、積極的に取り組みました。吉川さんは「自分らしく生きるために、自分の意思で義足になることを選択した」と教えてくれました。少しビックリしたみんなでしたが、前向きに生きる吉川さんを知ること、諦めないことの大切さや、どんな事でも勇気を持ってチャレンジしていく姿勢を学びました。

上越市立明治小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5・6年生と山下千絵選手が授業を行いました。スポーツ義足は想像していたより重たくて、これで速く走ることができる選手の凄さを知りました。ランチルームに移動したあとは、山下選手のお話を聞き、たくさんの質問をしましたね。義足になっても好きなスポーツに挑戦している山下選手は、難しいことや負担を感じる時もあったけど、諦めずに続ければ、乗り越えた先には良いことがあるんだよ、と教えてくれました。

福井市立日之出小学校

走り高跳び選手 / 鈴木徹選手
SMBC日興証券所属

6年生のみんなと鈴木徹選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足を体験して、感覚のない足で歩くことの大変さを感じました。義足の人はサポートが必要なのかな、と思ったけれど、慣れることで色々なことができるようになることを教えてくれました。誰よりも高く跳ぶ鈴木選手を見て、努力すればできないことはないんだとみんなの考え方が変わりました。

大野市上庄小学校

走り高跳び選手 / 鈴木徹選手
SMBC日興証券所属

5年生、6年生のみんなと鈴木徹選手が授業を行いました。スポーツ義足は思った以上に難しいと感じるみんなに、鈴木選手が優しくコツを教えてくださいました。義足でも何でもできるという鈴木選手の話聞いて、自分と何も違いがないと気づき、初めはちょっと緊張していたけれど、いつの間にか壁がなくなりました。新しい世界を知るためには、直接触れ合い、身近に感じることが大切なんだと思いました。

富士河口湖町立勝山小学校 /
西浜小学校 / 大嵐小学校 / 富士豊茂小学校

2018年11月6日 開催

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

4つの小学校が、勝山小学校の体育館に集まって授業を行いました。11月になって体育館の中の気温もぐっと下がって来ましたが、山下千絵選手の明るさにつられみんなは元気に義足体験をしましたね。山下選手は義足でも困ることはなく、日常生活も工夫すれば何でも出来ると教えてくださいました。自分と違うこと、逆に同じことをみんなで考える時間になりました。

橿原市立畝傍東小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属



真夏のような暑さの中、6年生のみんなと池田樹生選手が授業を行いました。初めて見て触るスポーツ義足に興味深々のみんな。実際に体験すると、安定感がなく難しいと感じました。元気にチャレンジするみんなと一緒に、池田選手もたくさんの汗をかきながらコツなどを教えてくれました。バランスを取ることも大変なのに、この義足で速く走ることができる池田選手はどれだけの努力をしたのだろうと感じました。

奈良市立鶴舞小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属



暑さが和らいだこの日、山下千絵選手と5年生、6年生のみんなが授業を行いました。積極的に質問をしながら、初めてのスポーツ義足に元気にチャレンジ。体育館のあちこちでたくさんの会話が生まれました。山下選手は、義足でスポーツもできるし日常生活も工夫すれば困ることは減多にないと言います。「自分ができない時は助けてもらうし、誰かを助けることもできる」と聞いて、みんなも、障がいの有無に関わらず、困っている人がいたら自分ができるところをしようと思いました。

久米南町立神目小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

5年生のみんなと池田樹生選手が授業を行いました。池田選手に義足の歩き方のコツを覚えてもらいながら、初めて義足を体験。フレンドリーな池田選手のおかげでたくさんの質問をして、選手とみんなの距離が縮まり、あっという間に仲良くなりました。授業中もリラックスして活発なコミュニケーションをとることができ、お互いの考え方を知り、お互いを認め合う時間となりました。

萩市立川上小学校

陸上競技短距離選手
池田伸彦選手

川沿いに建つ体育館で、5・6年生と池田伸彦選手が授業を行いました。スポーツ義足に緊張することもなく、装着するとすぐに走り始めましたね。義足になってからもトレーニングを欠かさない池田選手は「まずはやってみる、という姿勢が大切」と教えてくれました。どんな時でも自分を信じ、何事にも挑戦していこう、とみんなと語り合う時間となりました。



6年生のみんなが授業を行いました。先生として来てくれたのは佐藤圭太選手（トヨタ自動車）です。スポーツ義足の体験をして、これを使いこなすのは難しいなと感じたけれど、佐藤選手は軽快な走りと高いジャンプを見せてくれました。ここまで来るにはどれだけの練習や努力があったのだろうと感じ、諦めずに続けることの大切を知りました。



山下千絵選手と、2つの小学校の6年生が集まって授業を行いました。最初は、初めて会う義足の選手に少し距離を感じていたみんなでしたが、明るい山下選手につられ、色々とお話をして、授業が終わる頃にはすっかり仲良くなりました。山下選手は義足を使えば日常生活で困ることはないと教えてくれました。義足でも自分と何も違いがないことを知ったみんなは、これからは自分とは違う誰かが隣にいても、壁を作らずに接していこうと感じました。



山下千絵選手と5・6年生のみんなが授業を行いました。初めて見る義足の選手に少し緊張したけれど、山下選手の明るさにつられて笑顔も多くなり、元気に体験をしました。軽々と走る山下選手を見て、誰でも簡単に走れるのかな？と思いましたが、なかなか難しい！ここに来るまでの山下選手の努力を感じ、自分たちも負けないように頑張ろうと思いました。



6年生と眞野雄輝選手が授業を行いました。眞野選手の膝上の義足は、みんなが体験した膝下の義足よりも使いこなすことが更に難しいそうです。階段の上り下りや多くの荷物を持っている時は、周りの人にお手伝いをお願いすることもあるそうで「困ってそうな人がいたら進んで声をかけてあげて欲しい」と伝えていました。義足になって一度スポーツから離れた時期もある眞野選手ですが、再開して今は楽しみながら取り組んでいます「成功するかどうかは別。好きなことを続けていけばいいんだよ」とメッセージをくれました。

都城市立西岳小学校



深い緑に囲まれた体育館で、5年生、6年生のみんなと山下千絵選手が授業を行いました。ひとりひとりとたくさんのお話をしましたね。義足は大変なのかなと思ったみんなだけど、山下選手との触れ合いを通じて自分との違いのなさを知りました。一緒に時間を過ごすことで、お互いの壁がなくなっていくことを感じました。



株式会社 LIXIL

東京都江東区大島二丁目1番1号 136-8535
www.lixil.com/jp

ユニバーサル・ラン <義足体験授業>
<https://s.lixil.com/universal-run>